


福祉事業理念

あなたの想いを 寄り添います

 富山県生活協同組合

富山県生協が目指す介護の姿

1.ご本人の尊厳をまもる

人は誰もが最期まで自分らしく誇りをもって過ごしたいと願っています。自己決定を大切にしながら利用者の尊厳をまもります。

2.自立を目指すケアをする

生活環境を整えながら、その人本来の活動性を引き出すためのケアを実践します。ケアを通じてQOL(生活の質)を向上させていきます。

3.自分らしい在宅生活をささえる

利用者・家族がどのような生活を望み社会とのつながりを求めているのか確認し、住み慣れた在宅での生活をサポートします。

生協10の基本ケアとは

「生協10の基本ケア」の特長は、利用者ご自身の「普通の生活」を取り戻し、利用者・家族のQOL(生活の質)を高めていくもので、市民生活協同組合ならコープが母体の社会福祉法人 協同福祉会が2006年4月から実践してきた考え方を元としています。

日常生活行為そのものをリハビリと捉え、利用者と介護職員がトイレ、食卓、浴室などでの日々の介助の中で、在宅生活を基本とした生活動作の維持・向上を目指します。



職員が「生協10の基本ケア」について理解したり、課題を共有し合ったりするための学習の場を定期的に設けて、サービスの向上につなげています。

6. 座って会話をする

安心感を与えられるように座って会話をします。共に時間を過ごし、日々の見守りを行います。



8. 夢中になれることをする

自分らしく好きなことに夢中になれる機会や、居場所づくりに取り組みます。



9. ケア会議をする

ご自分の街で住み続けられるように、社会性と暮らしを守るケアプランをつくります。職員はチームでケアに取り組み、ご家族を含めサポートします。



7. 町内におでかけをする

慣れ親しんだ地域に出かけることは社会性や精神的な豊かさを保つためにも大切なこと。これまでの生活リズムを維持できるようにします。



10. ターミナルケアをする

元気なときから人生の最期まで、地域との連携でご自宅でのターミナルケアをサポートします。

